

上松川診療所ニュース 第19号

骨密度健診を受けましょう!



・骨粗鬆症とは

骨がもろくなって骨折しやすくなる疾患です



・大腿骨近位部骨折をしてしまうと

1年以内の死亡率は19%



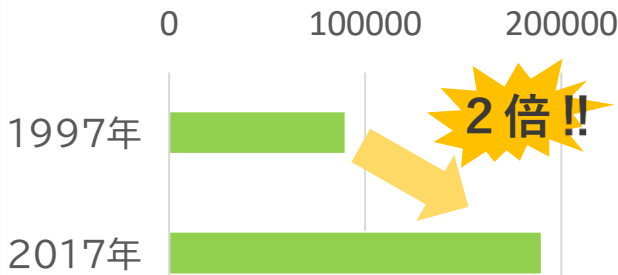
大腿骨近位部骨折の5年生存率は51%

肺がんは47.5%、胃がんは75.4%

5年生存率は骨折と肺がんが同じくらい

5年生存率は胃がんより悪い

・大腿骨近位部骨折数



・患者数

身近な病気ね

骨粗鬆症	— 1600万人
糖尿病	— 1000万人



脳梗塞

年間発生数

19万件

平均入院費

177万円

大腿骨近位部骨折

19万件

217万円

夏の地面に目を凝らすと、どこにでも見えてくるのは真っ黒い小さな小さな生き物の、道を急ぐ姿。それは蟻そのものなのか、強い光に生まれた蟻の影なのか。実体なのか、幻なのか。あまりにも暑い盛りの中、僕の頭も混乱している。

黒蟻かその影なのかひた歩く

石疼



・身長と骨折

健康な人と比べて、
身長が2cm縮んだ人は背骨の骨折リスクが13.5倍
身長が4cm縮んだ人は背骨の骨折リスクが20.6倍



・女性と骨粗鬆症

女性は、エストロゲン(女性ホルモン)が減少する閉経期である45歳くらいから骨密度は減少し、75歳の平均の骨密度は骨粗鬆症の要治療の値となってしまいます。



・男性と骨粗鬆症

- ・日本の骨粗鬆症の患者1600万人のうち、男性は400万人であり、骨粗鬆症の4人に1人は男性です。
- ・男性は50歳ごろから骨密度が減少し始め、70歳ごろから顕著に減少します。
- ・男性の骨折は女性よりも予後が悪いとされおり、注意が必要です。



・骨折の危険因子

低体重、骨折歴、ステロイドの服用、両親の大腿骨頸部骨折歴(骨折のリスクが2.3倍)、
飲酒(骨折のリスク1.7倍)、喫煙(骨折のリスクが1.3倍)



骨粗鬆症には自覚症状がありません。
自分の骨の状態を知るために定期的な骨密度検査をお勧めします♪

骨密度健診1,650円(組合員価格)



※医師の指示で医療保険で行うこともあります。

まずは職員へお声がけください